



氏名

セミナー
の
ねらい

- 保護者それぞれの、スポーツ子育て哲学を再確認する。
※スポーツ子育て哲学：保護者として、子育てにおいて大切にしていることや目指していくことなど、人生観。
- 選手が、スポーツ生涯を通じた成長が続けられるよう、周囲の人々との協力体制を確立する。



ワーク①

**学校運動部とジュニアユースクラブ、進路で迷っています。
あなたは、家族会議でどのようなことを話しますか？**

1. 次の文を読み、あなたならどうするか、自分の考えを書きましょう。

【保護者のジレンマ】

あなたは小学校6年生の保護者だと仮定します。

子供は民間のサッカークラブでプレーしており、クラブの中では主力の選手の一人です。チームは県の大会で、数年に一度は優勝する強豪です。

いま、進路選択に悩んでいます。私立A中学校サッカー部には優れた指導者(コーチ)がいて、短時間で効率のよい練習と、選手の自立や自律を重視した指導の結果、インターハイで活躍する選手をこれまで何人も輩出しています。子供の現在の成績では、十分に合格できる可能性があります。

ところが子供は隣町にある有名ジュニアユースクラブのセレクションを受けたいと言っています。この場合は地元の公立中学へ進学します。セレクションに受かるかは微妙なところですが、クラブに入れば練習は週5日あり、練習時間も長いと聞いています。またクラブに通うために片道1時間かかり、家庭での手伝いはおろか、勉強時間を確保することも難しくなりそうです。

- ① これから、家族会議で子供の進路について話し合います。あなたはどのようなことを話しますか？

2. グループで話し合しましょう。必要に応じてメモしましょう。

子供は保護者の鏡です。判断の難しい課題に行き当たったときに、どのような判断を下すのか、それをどのように子供に伝えるのかを子供は見ています。口で伝えるその内容だけでなく、保護者自身の品格や哲学が子供に大きな影響を及ぼすことを忘れてはなりません。

メモ



ワーク② 自己意識を可視化しましょう。

1.ここは思考と内省の時間です。以下の問いを読み、しばらく考えてから答えを書きましょう。

①なぜ、あなたは子供にスポーツをさせている（子供のスポーツを支えている）のですか？

②充実した競技者人生を送るために、どのような競技指導が望ましいと思いますか？

③子供の「競技者人生」を充実させるために、保護者にできることは何ですか？

④子供の「競技を終えたあとの人生」も充実させるために、あなたは良い保護者ですか？
良くないとしたら、良くない部分は何ですか？

2.グループで話し合しましょう。必要に応じてメモしましょう。

メモ



ワーク③ あなたは、何を目的にスポーツ子育てをしていますか？

【参考資料】

スポーツの3つの主要目的

保護者が掲げるスポーツの目的は、以下の3つのカテゴリーに分類されることが多い。

- 子供の成長を助けること
 - └ 体力的成長: トレーニングを通じて体調を改善し、健康的な生活習慣を身につけ、怪我を防ぐ。
 - └ 精神的成長: 感情をコントロールすることを学び、自分に自信がもてるようになる。
 - └ 社会的成長: 競い合う環境の中で、協力しあうことや行動規範を学ぶ。
- 子供に楽しみを与えること
- 子供に勝つ喜びを与えること

1. 次の3つの質問に対する自分の考えを、a.b.c.の3つの考え方にそれぞれ10点配分して答えましょう。

① 最高の保護者とはどのような保護者でしょうか？

- a. スポーツによる人間的成長をめざし、自立と自律を支援しながら、成長した部分を認めて伝える。
- b. 子供がスポーツを楽しめるように、さまざまな工夫をこらす。
- c. 子供が勝つスポーツ選手になれるように、最高の環境を用意する。

a	b	c
---	---	---

② もし自分のことが新聞で報道されるとしたら、どんな保護者だと伝えられたいですか？

- a. スポーツを通じて、子供を人間として成長させた保護者。
- b. 子供に、スポーツを心から楽しませた保護者。
- c. 勝ち続ける選手を育てた保護者。

a	b	c
---	---	---

③ ジュニア年代の保護者として大切にしたいことは何ですか？

- a. 競技のことだけでなく、よい生活習慣や学校生活とのバランスが崩れないよう支えることを通じてアスリートとして、そして人としての成長をめざす。
- b. スポーツの楽しさを共有することで子供の人生を充実させる。結果的に保護者の人生も充実する。
- c. 勝ちにこだわり、圧倒的なパフォーマンスを発揮できるよう支援する。

a	b	c
---	---	---

2. 配点を合計しましょう。

合計

a	b	c
---	---	---



ワーク④ どのようなスポーツ子育てスタイルがベストなのでしょう？

※ 裏面に記述しましょう。



ワーク⑤ なぜ、あなたは子供にスポーツをさせる（支える）のですか？

1. グループで話し合しましょう。必要に応じてメモしましょう。



ワーク④ どのようなスポーツ子育てスタイルがベストなのでしょうか？

1. 次の①～③の議題から一つ選び、座席を移動しましょう。

① 子供への接し方

指示スタイル

保護者が全てのことを決定する。子供の役割は、保護者の指示に従うことである。保護者には知識と経験があるので、何をなすべきか子供に指示するのが保護者の役割であるということが、このスタイル前提をなしている。子供の役割は聞いて、覚えて、従うだけである。

従順スタイル

ほとんどの場合子供の意思を尊重する。魔法の言葉「子供がそれを望むのなら」が常に効果を発揮する。保護者はほとんど意見を言わず、どうしても必要な規律の問題がおきた時や、お金の問題については解決に尽力する。このスタイルの子育ては1) 指導能力が欠けているか、2) 子供に対して指導者(コーチ)として無責任か、3) 子育てについてまちがった信念を持っているにすぎない。

協働スタイル

意思決定を子供と話し合っていく。保護者はリーダーシップを発揮し、子供を目標達成へ導く責任があることは認めているが、子供自身が自ら選択することを学ばなければ、責任のある大人になれないということも知っている。協働スタイルの難しいところは、保護者が子供に指示する部分と子供が自ら行うことの、適切なバランスが求められることだ。

② 学校と教育、キャリア

寝ても覚めても競技スタイル

その競技で成果をあげることが、将来を豊かにするための重要な要素だと考えている。そのために、競技以外のことが多少犠牲になることはやむをえないと考えている。

競技以外とのバランスを尊重スタイル

競技だけに集中することによる重圧を防ぎたいし、競技以外の社会についても学んでほしい。読み書きとパソコンくらいは社会に出てから必要だし、学ぶ能力は競技力向上にも役立つと考えている。

今はスポーツ その後の人生も計画的に スタイル

トップアスリートまで成長したとしても、アスリートでいられる期間は限られている。競技を通じて培ったことを活かすためにも、職業について計画を立ててほしいと考えている。

③ コーチと保護者

コーチはコーチ、私は私スタイル

コーチはトレーニングの指導はしてくれるが、完全な人間ではない。子供の権利を守るためには、子供が言いにくいことを親が代わりに言ってやる必要もある。競技のとき、コーチと別の視点からアドバイスすることも必要だと考えている。

コーチとは分業スタイル

競技指導はコーチにお任せ。指導法だけでなく、選手起用も戦術もすべてお任せする。保護者は子供の睡眠、栄養に配慮しながら、良い生活習慣や競技以外のことを(学校のことなど)担当している。

コーチとは協働スタイル

子供はいまどのような目標を持っているのか、競技以外ではどのような状況なのか、そしてコーチの指導方針はどうなのか。コーチと保護者は情報を共有して活かす。競技についてはコーチにお任せし、保護者はコーチに協力できる部分を探して協働する。

2. それぞれ3つのスポーツ子育てスタイルから自分に近いものを選びましょう。

なぜ、そのスタイルを選んだのでしょうか。また、選ばなかったスタイルはどこがよくないと考えますか。グループで話し合しましょう。必要に応じてメモしましょう。